

番号	14	令和3年度公共事業再評価調査				担当課名	砂防課
事業名	通常砂防事業			事業主体	静岡県		
箇所名	ナカヤマガワシセン オクサワ 中山川支川奥沢			市町名	浜松市		
事業採択年度	平成17年度		計画期間	平成17年度～平成19年度 令和2年度～令和6年度			
用地着手年度	令和4年度		工事着手年度	令和4年度			
再評価理由	事業採択(H17)後、事業停止期間を除いて5年間が経過した時点で継続中						
全体事業費	百万円 244	投資状況 (百万円)	～R1年度 44	R2年度 26	R3年度見込 2	計 72	
事業	<p>(1) 事業目的 奥沢は浜松市天竜区に位置し、保全対象に国道362号（緊急輸送路）、人家19戸を含む土石流危険渓流である。 上流部の渓床には不安定土砂が厚く堆積し、土石流による甚大な被害が懸念されるため、砂防堰堤の整備により土砂災害を未然に防止する。</p> <p>(2) 事業内容 砂防堰堤1基</p>						
事業の 必要性	<p>【視点1】</p> <p>(1) 事業を巡る社会情勢等の変化 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発し、甚大な土砂災害が多く発生しており、令和2年度県政世論調査では台風や地震などの自然災害に対する不安の声もあった。 事業着手した平成29年度からこれまでに、浜松市内では36件の土砂災害が発生している。 当該箇所は、土石流の発生により、人家や国道（緊急輸送路）等に被害が及ぶことが懸念されるため、砂防堰堤を整備する必要がある。</p> <p>(2) 事業の投資効果 費用対効果 B/C：2.2 経済的内部収益率（EIRR）：12.5% 総便益：500百万円 （直接被害：家屋、道路、人的被害（逸失利益） 間接被害：人的被害（精神的損害）） 総費用：230百万円 （建設費、維持管理費）</p> <p>(3) 事業の進捗状況（令和3年度末見込み） 【事業費】30%（72百万円/244百万円）</p> <p>用地取得0%</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
今後の 事業の進捗 の見込み	<p>【視点2】</p> <p>保全対象の12世帯にアンケートを実施したところ、9世帯が「事業を継続する必要性を感じる」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望は強い。 過年度に用地取得できなかった地権者から事業協力の同意を得たことから事業を再開し、計画的な工事の推進により令和6年度の完成が見込まれる。</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
新たなコスト 削減・代替案立案 の可能性	<p>【視点3】</p> <p>残存型枠を使用し、コスト削減と工期短縮を図っている。 また、近隣の工事箇所と発生土の利用調整を図り、残土処分費の削減を図る。</p>						
対応方針案	<p>(1) 対応方針案 本事業を（ <input checked="" type="radio"/> 継続 ・ 中止 ）する。</p> <p>(2) 理由 本事業は土石流による被害を未然に防止するものである。費用対効果も見込まれ、人家や国道（緊急輸送路）等の保全など、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。</p>						

費用対効果算出説明書

「奥沢」
 (「土石流費用便益分析シート(R3.1)」国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部)

総括表

総便益B	[事業を実施しない場合の被害額]－[事業を実施した場合の被害額]	500百万円
総費用C	[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費]	230百万円
B/C		2.2

総便益

[土石流対策事業を実施しない場合の被害額]－[土石流対策事業を実施した場合の被害額]

年平均被害軽減期待額を評価対象期間55年(整備期間5年+耐用期間50年)について累計する。
 ただし、年平均被害軽減期待額は算出基準年(令和3年)に基づく社会的割引率(4.0%)で現在価値化したものとする。

便益計 = $\sum \text{年平均被害軽減期待額} / (1+0.04)^n$
 = 500百万円

- ※ 年平均被害軽減期待額: 土石流発生の生起確率(1/10年超過確率降雨及び1/50年超過確率降雨)それぞれに対応した被害軽減額の平均値の合計。
- ※ 人的被害額/1人あたりは、1/50年超過確率降雨のみで発生し、市町の人口比率を反映した各年齢別人的被害額の平均額である。その平均額を被害想定区域内の死者数を想定し乗じて人的被害額を算定する。
- ※ 整備期間中の被害軽減額は、事業費に比例して発生するものとする。

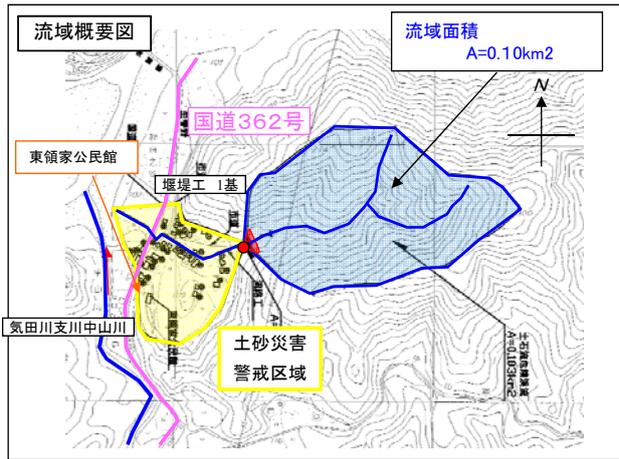
総費用

[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費]

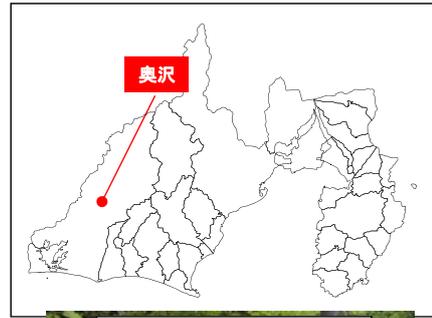
各年次の建設費と維持管理費(過去5ヶ年の平均値)を評価対象期間55年(整備期間5年+耐用期間50年)について累計する。
 ただし、各年次の建設費及び維持管理費は、算出基準年(令和3年)に基づくデフレータ及び社会的割引率(4.0%)で現在価値化したものとする。

費用計 = $\sum \text{年間建設費} / (1+0.04)^n + \sum \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n$
 = 202百万円 + 28百万円
 = 230百万円

中山川支川奥沢の概要



静岡県 浜松市 天竜区春野町領家



【保全対象】
 国道362号 (第2次緊急輸送路)
 人家19戸
 東領家公民館

【奥沢】
 砂防堰堤1基：不透過型

B/C : 2.2

事業概要

前回からの変更点・理由

	前回(H29)	今回(R3)	主な変更理由
①計画期間	H17~H21	H17~H19 R2~R6 (+3年)	・事業趣旨について地権者の承諾が得られたため、一旦休止した事業を再開する
②全体事業費	200百万円	244百万円 (+44)	・現行の基準に合わせて設計を再実施するため

事業概要

溪流名：中山川支川奥沢

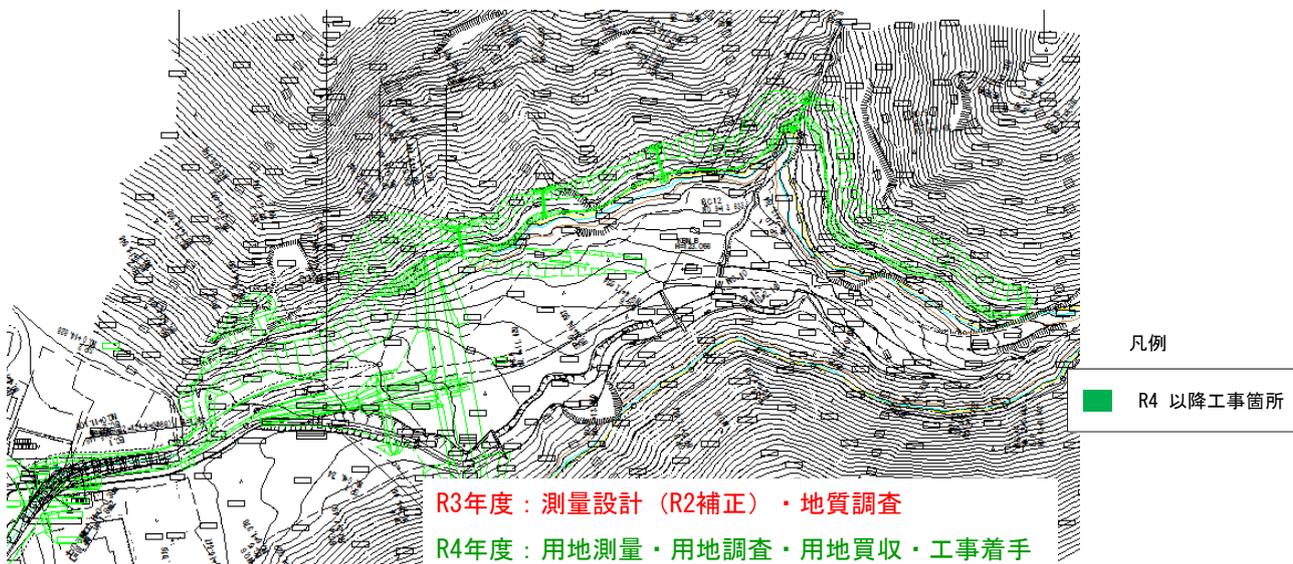
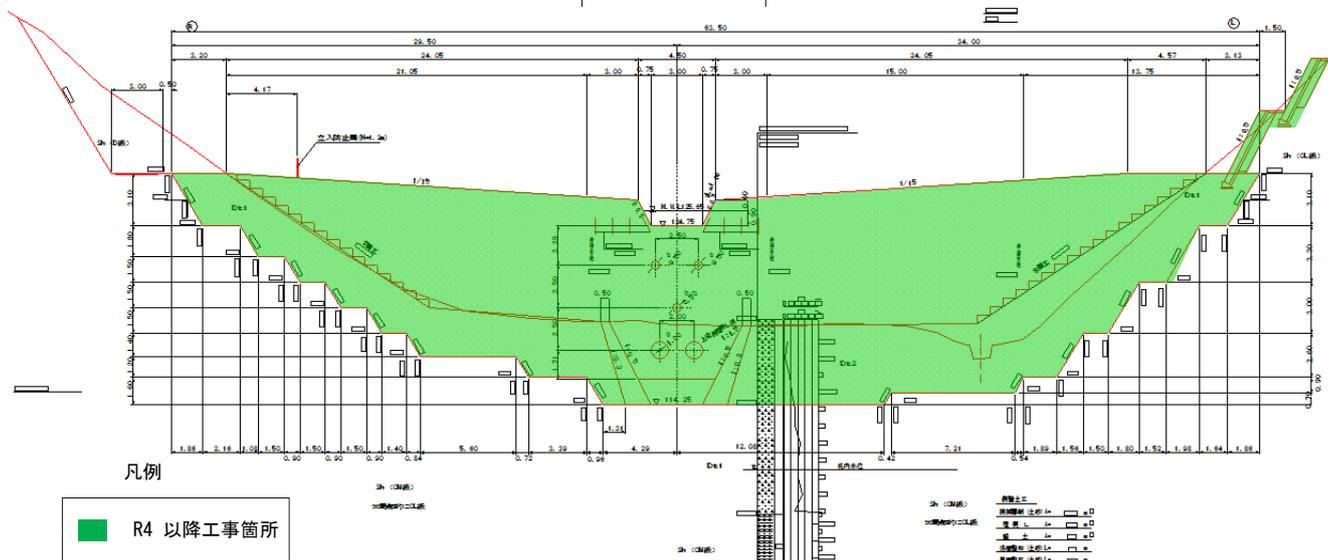
事業期間：平成17年～令和6年

事業費：244百万円

事業量：砂防堰堤工1基(不透過型)

堰堤(不透過型)：高さ10.5m、堤長63.5m

本堤工正面図



現況状況(下流から砂防堰堤建設予定地を望む)



沢の荒廃状況

